

新エネルギーのまち



シャーフ美吉野太陽光発電所（場所：左巻）



経済産業省関連事業：小水力発電導入促進モデル事業（場所：椗尾）

吉野町



BDFで走るスマイルバス（コミュニティバス）
廃食用油の回収も実施しています。



菜の花プロジェクト



新エネルギーのまち 吉野町

～低炭素社会を目指して～

地球温暖化問題は、生活環境、自然災害、生態系等に深刻な影響を与えている重大な問題であり、地球規模での対策が求められています。そのため、本町では温室効果ガスの排出量削減のため、平成21年2月に吉野町地域エネルギービジョンを策定し、第4次吉野町総合計画に基づき、新エネルギーの導入を推進しています。

シャープ美吉野太陽光発電所

H25.7.19 吉野町左曾にメガソーラーが誕生！

吉野町が事業者（合同会社クリスタルクリアソーラー）に4.2haの土地を貸与。

20年間に渡り発電し、関西電力㈱に売電。

1万869枚の太陽光パネルを設置。発電容量は2.7MW。

年間予測発電量 約270万kWh。

一般家庭の消費電力に置き換えると約750世帯分に相当。

CO²削減量は年間136万kg。森林面積換算で382ha。

原油節約換算では年間約61万ℓと見積もられる。

吉野町プロペラ式小水力発電実証事業

平成24年度～27年度（4年間）関西電力㈱の発電用導水路をお借りし、小河川で利用できる小水力発電装置の実証実験を実施（経済産業省関連補助事業）。

船舶プロペラメーカー（岡山）のナカシマプロペラ㈱と共同開発中。

【小型】【高性能】【安価】な装置の開発を目指す。

プロペラで流水のエネルギーを受け、発電機に動力を伝達。蓄電システムにより多用途（獣害対策の電気柵や桜のライトアップ等）に利用可能。

菜の花プロジェクト

平成21年9月に菜の花プロジェクトを立ち上げ、町民の皆さんとの協働で菜の花の栽培を始める。収穫した菜種は菜種油にし、生産者に配布。使った油は回収する。

平成22年9月からは廃食油の回収を始める。回収した廃食油はBDF（バイオディーゼル燃料）に精製し、町内を走るスマイルバスの燃料として利用。現在は、学校、役場等公共施設、郵便局に回収場所を設けており、各事業所にも協力を依頼し、廃食用油を回収。BDF（バイオディーゼル燃料）を使用したときに発生するCO₂は、植物が成長過程において光合成し吸収したCO₂が考慮される為カウントされません（カーボンニュートラル）。